

令和7年度以降のスキー移動教室について

毎年2年生で実施しているスキー移動教室。

現在2年生は、例年通り新潟県妙高市の「国立妙高青少年自然の家」「赤倉温泉スキー場 銀嶺ゲレンデ」に行く予定で準備を進めています。国立の施設であるというメリットと豪雪地帯の豊富な積雪量で雪不足知らずで良質なパウダースノーを楽しめる本格的なスキー場であることが最大のメリットです。

しかし、学校から遠く（約300km）貸切バスの場合、4時間の時間が移動にかかってしまうということで・・・物流業界において問題視されている「2024年問題」・・・貨物運送事業だけでなく旅客運送事業にも影響があり、貸切バスの連続運転は4時間を超えてはいけません。また、貸切バスの高速道路の連続運転時間は、おおむね2時間までとするように務める必要があるとされています。

さらに、豪雪地帯ということで・・・2年前、実施の前日に記録的大雪で高速道路が「通行止め」。出発準備を済ませた前日の19時ごろに「中止」（数日後に日程調整が整い「延期」となりました）とした経験があります。

そこで、近距離で「スキー移動教室」の目的を達成できる施設がないかと探していたところ・・・長野県茅野市の「富士見高原」学校から約170km：移動時間2時間であるという情報をいただきました。渋谷区内でスキー移動教室を実施している中学校長で8月下旬に下見に行きましたが、駒崎は、陸上競技部の全国大会で福井に行っていた関係で・・・昨日プライベートで下見に行ってきました。

近いというメリットはありますが、雪不足の可能性もあります。人工降雪機を常備しており、滑走可能な状況にはなるとのことです。妙高市のような豊富な雪、そして良質なパウダースノーとはいかない状況ですが・・・。

このような状況で、まだ決定ではありませんが長野県茅野市での実施を検討していきます。

宿泊施設（ゲレンデからスグ）



夏のゲレンデ（イメージがわかりませんが）



急斜面と緩斜面に4つのリフト



ロッジの様子（夏はキャンプ場でした）

